

PSEワークショップ講演会論文集 投稿用和文版下原稿執筆要領

INSTRUCTIONS FOR PREPARATION OF CAMERA-READY MANUSCRIPTS FOR PROCEEDINGS OF PSE WORKSHOP

杉浦秀明¹⁾, 川田重夫²⁾
Hideaki Sugiura and Shigeo Kawata

1)宇都宮大学大学院 工学研究科 博士前期課程 (〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7-1-2, E-mail)

2)工博 宇都宮大学大学院 工学研究科 (〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7-1-2, E-mail)

The Proceedings of the 9th PSE Workshop'06 will be prepared from camera-ready copy received from authors. All manuscripts should be in Japanese or English. Please follow the instructions printed on this sample paper with regard to the placement of title, authors' names and affiliations as well as main text. No paper that exceeds six pages can be included in the Proceedings.

Key Words : Times New Roman, italic, 9pt

1. はじめに

このファイルはPSEワークショップ講演会論文集の完全版下和文原稿を作成するために必要なレイアウトやフォント等の基本的な情報を記述しています。

本論文集は著者が作成した版下原稿をそのまま縮小せずにオフセット印刷をします。ここに記載されている事項に従い、印字品質の高いタイプあるいはレーザープリンタ等を用いて版下原稿を作成して下さい。原稿はA4サイズ2段組、6ページ以内の偶数ページでまとめて下さい。用紙は、市販のA4用紙をお使い下さい。

事務局で特別な用紙は用意しません。上下辺、左右辺ともマージンは2cmとします。本文は(25文字+2文字+25文字)の横2段組とし、50行(行間約14.4pt)で作成して下さい。各段の両端はそろえて下さい。また、言語は日本語、英語どちらでも構いません。句読点は、「。」と「,」に統一して下さい。文字サイズは明朝9ptを用いて下さい。最後のページは左右をできるだけそろえるようにして下さい。

提出原稿の裏側右上方に鉛筆で、ページ番号(1/6など)を記入しておいて下さい。

2. タイトルページのレイアウトとフォント

2.1 タイトル部

タイトル部は例のように、1段組として下さい。1ページ目の1行目のみに、例のように右に詰めて、「the 9th PSE Workshop'06」をTimes New Roman, 9ptを用いて記入して下さい。

1行あけて、タイトルを記述します。タイトルはゴシック体18ptを用い、センタリングします。さらに1行あ

けて、英文タイトルをTimes New Roman, 10pt, 大文字, センタリングで書いて下さい。

1行あけて、例のように著者名を明朝10pt, センタリングで書いて下さい。著者が複数の場合には、例のように肩カッコ付き数字を付けて下さい。次ぎの行に、Times New Roman, 10ptを用いて英文の著者名を書いて下さい。

1行あけて、著者の所属を明朝9pt, センタリングにより記入して下さい。著者が複数の場合には、例のように著者名に付けた肩カッコ付き数字と対応させて記入して下さい。

1行あけて英文概要を、Times New Roman, 9ptを用いて書いて下さい。このとき、左右を明朝9ptで5文字程度あけるようにして下さい。次ぎの行に3~4程度の英文キーワードを例のように、Times New Roman, 9pt, italicにより記入して下さい。'Key Words' という文字はボールドイタリック体にします。

2.2 本文部分

キーワードの後、2行あけて本文に移ります。本文は、一般ページと同じです。横2段組、50行(行間約14.4pt)、明朝9ptで作成して下さい。

3. 見出し(見出しが複数行に渡る場合には、このようにインデントを付ける)

3.1 章の見出し

見出しのレベルは3段階とし、第1レベル(章)は、上に1行あけて、ゴシック体、10ptにより「2. 数値計算例」のように記入して下さい。

3.2 節の見出し

第2レベル(節)の見出しは前後に空白行を設けず、

ゴシック体, 9pt により「3.2 節の見出し」のように記入して下さい。

a) 項の見出し

第3レベル(項)の見出しも前後に空白行を設けず, ゴシック体, 9pt により「a)項の見出し」のように記入して下さい。

4. 数式および数字記号

数式はセンタリングし, 式番号はカッコ付きの通し番号で右詰として下さい。

$$F(x) = \frac{\sqrt{a^3}}{(a+b)} \int_{\alpha\Omega} g(t) dt \cdot e^x \quad (34)$$

また, 数式の前には1行空白行を設けて下さい。

5. 図表

図表は, 本文で引用した箇所に近い場所に置くことを原則とします。できるだけ, 原稿末尾にまとめて置くことは避けて下さい。

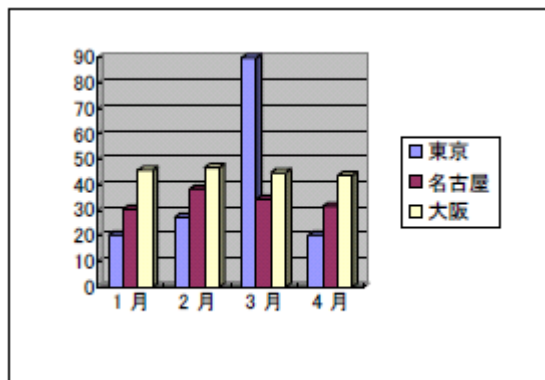


図3 図のキャプションは図の下に置く

図表の前には, 空白行を1行設けて下さい。表のキャプションは表の上に, 図のキャプションは図の下に, 置いて下さい。図番号, 表番号は通し番号とし, ゴシッ

ク体, 9pt で書いて下さい。英文キャプションの場合には, Fig.3やTable 3 などのようにTimes New Roman, 9pt を用いて下さい。

Table 3 Sample Table

No.	case	case(Pa)
1	abcd	123.0
2	efg	56.7
3	hijk	-

6. 最終ページのレイアウト

最終ページは左右の段落ができるだけそろるように調整して下さい。

参考文献は出現順に番号を付け, 該当個所に³⁾のように上付き文字で指示して下さい。参考文献の引用リストは例を参考にして, 文末に1行あけ, ゴシック体, 9pt, センタリングで「参考文献」と記入した後, 番号順に記入して下さい。

謝辞: 謝辞は結論の後に書いて下さい。

付録 付録の位置

付録は参考文献の前に書いて下さい。

参考文献

- 1)川井忠彦, 大坪英臣: 計算工学講演会論文集の書き方, 計算工学講演会論文集, Vol.1, pp.1-2, 1996
- 2)Yamada, Y. et al. : Plastic stress-strain matrix and its application for the solution of elasto-plastic problems by a finite element method, Int. J. of Mechanical Science, Vol.10, pp.343-354, 1968
- 3)鷲津久一郎: 弾性学の変分原理概論, 培風館, 1972
- 4)Martine, H.C. and Carey, G.F: 有限要素法の基礎と応用, (鷲津久一郎, 山本善之共訳), 培風館, 1979
- 5)Zienkiewicz, O.C. : The Finite Element Method (3rd edn.), McGraw-Hill Co.Ltd., 1977